

2021 J3 ■順位表 ■第15節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	富山	26p	+6	22	16	A●	
2	岐阜	25p	+8	21	13	---	---
3	熊本	24p	+5	17	12	H●	
4	宮崎	24p	+4	21	17	HO	
5	八戸	23p	+5	17	12	H△	
6	福島	23p	+1	19	18	AO	
7	岩手	22p	+5	20	15	AO	
8	長野	21p	+11	23	12	A●	
9	鹿児島	19p	0	17	17	HO	
10	YS横浜	16p	-4	15	19	H●	
11	藤枝	14p	-6	14	20	AO	
12	沼津	14p	-6	12	18	HO	
13	讃岐	13p	-8	14	22	HO	
14	今治	11p	-4	15	19	A●	
15	鳥取	11p	-17	12	29	AO	

次回HomeGame

第18節 vs. **ガイナレ鳥取**
9/11 (土) 16:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

today's guest : **福島ユナイテッド**

2020 J3 11勝 6分17敗 勝ち点39:13位

直近の対決と結果

2021/06/06
J3 - 10節@トウスタ
福島 1-2 岐阜
柏木陽介, 船津徹也 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		福島ユナイテッド	
2021/07/04	J3 - 14節@長野U 長野 2-1 岐阜	2021/07/11	J3 - 15節@あいづ 福島 4-1 今治
2021/06/27	J3 - 13節@長良川 岐阜 1-0 鹿児島	2021/07/04	J3 - 14節@ユニスタ 宮崎 3-2 福島
2021/06/20	J3 - 12節@夢スタ 今治 3-0 岐阜	2021/06/26	J3 - 13節@A x i s 鳥取 0-1 福島

●約2ヶ月間の長いシーズン中断期間を経て、ようやく僕らの街にJリーグが帰ってくる。中断前の最後のホーム戦、6/27 (日) 第13節・鹿児島戦は、相手にボールを支配され我慢する時間帯が長く続いたが、試合終盤に投入された今季初出場の#15 町田ブライトからのボールを#10 川西翔太がゴール隅に突き刺して殊勲の決勝点を挙げ、1-0で勝利。そして、シーズン前半戦最後の試合となる7/4 (日) 第14節・アウェイ長野戦は、前半に#8 中島賢星の豪快なミドルで先制。しかし、後半は長野に押し込まれてシュートを撃たれ続けた結果、2失点。1-2での悔しい逆転負けとなってしまった。

中断期間前の2試合を1勝1敗で終えたFC岐阜。辛うじて首位だったが、試合がなかった第15節終了時には、順位は3位に後退。しかし中断期間中に、2位だった福島が5月に勝利した試合で「指定公式検査において陰性判定を得ていない選手を出場させた」として、当該試合を敗戦扱いとする処分がJリーグから出された。これにより、FC岐阜の順位は2位 (=J2昇格圏内) に修正され、シーズン後半戦を迎えることになる。しかし、現在のJ3は首位・富山から勝ち点差5以内に、8位・長野までがひしめき合う大混戦。わずかな勝ち点の違い、あるいは得失点差の違いが、今後も大きく順位に影響してくるだろう。残り14試合をこれまで以上にチーム一丸となって、一戦必勝・全身全霊で勝ち続けなければ、この厳しくて激しい優勝(昇格)レースには勝ち残れない。そして、岐阜は第2ウインドー(夏の移籍期間)で、水戸から#44 深堀隼平を育成型期限付きで、金沢から#19 窪田稜を期限付きで獲得。これでチームの強化・補強がさらに進んだことを、また、中断期間にチーム戦術の浸透・進化が図られたことを、今日の試合で僕らに見せて欲しい。

さて、シーズン後半戦の最初となる、今節の対戦相手は福島ユナイテッドFCだ。昨季は13位、今季は福島出身でチームに古くから関わりのある時崎悠氏が監督に昇格し、前半戦は好調だった。先述したように勝ち点3を失って順位を6位に落としているが、それでも勝ち点23で岐阜との勝ち点差は2。今季8ゴールを挙げていた#9 イスマイラが京都に移籍してチームの得点源を失った福島だが、札幌から#26 ガブリエルを期限付きで、山口から#9 森晃太を完全で獲得し、得点力の再向上を図っている。また、2012年~2013年に清水から期限付きで岐阜に在籍した#40 樋口寛規は現在4ゴール、古巣対決に気持ちが入っていることだろう。そして、今季開幕直前の骨折で欠場していた#10 トカチが復帰。直近3試合連続・3ゴールを決め、こちらも不気味な存在だ。また、法政大でチームメイトだった岐阜の#23 大西遼太郎と福島の#18 橋本陸のマッチアップにも注目したい。

福島との対戦は、岐阜の2勝1敗・5得点3失点。前半戦の6/6 (日) 第10節アウェイ戦では2-1で勝利したものの、昨季のホーム戦10/18 (日) 第22節は1-2で敗戦。今季こそは、ホームで「勝ち点6マッチ」の上位対決を制しなくてはならない。今節は、中断期間に各チームがどのように変化したのか、シーズン後半戦の動向を占うこととなる大切な試合だが、しかしそれ以上に、今日はFC岐阜に関わる者たちにとって非常に大切な日だ。2010年8月28日は、当時アカデミーに所属していた#13 桐山周也選手が遠征中の水難事故で亡くなった日だ。今年もこの日を迎えて、FC岐阜の永久欠番を与えられた彼のことや、このクラブがここにある意義、あるいはサッカーを楽しめる日常などを、改めて考える日にしたい。

そして、現在は全国的にデルタ株の影響などで新型コロナ「第5波」のまっただ中にある。岐阜県にも『緊急事態宣言』が発令され、今節は試合以外のイベントや屋台村などが軒並み中止されている。チームにも3度目の新型コロナ陽性判定者が出ており、危機感が高まっている。観戦を諦めたサポーターたちも多いことだろう。従って、スタジアムに集っている僕らは、これまで以上に感染防止対策を徹底しながら、選手たちの後押しをしよう。タオマフやゲーフラなどの掲出(振るのは禁止)でスタジアムを緑に染め、(声は絶対に出さずに)拍手や鳴り物の音をスタジアムに響かせよう。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第13節】岐阜 1-0 鹿児島

●今シーズンの中断期間前、最後のホーム戦。きちんと勝利して、長い「夏休み」を迎えたい。屋台村での『カレー祭り』も美味しかったし楽しめたけれど、やっぱり長良川の“メインディッシュ”は、FC岐阜の勝利でしょう？（笑）

さて、岐阜は#9山内寛史が初スタメン。ここにボールを収めて攻撃したい岐阜…のハズが、全然違う方向にボールが飛んでゆきますね（溜息）。息が合っていないのか、それとも#7村田透馬の場合は、彼の快足でなんとかなっていたのか（苦笑）、序盤から鹿児島にボールを支配される展開に。それでも、岐阜の堅い守備と、鹿児島のシュートが枠を捉えきれずにいてくれるおかげで、なんとかスコアレスドローのまま前半終了。ハーフタイムに安間監督の檄が飛んだのか、それともプラン通りなのか、後半開始直後から攻撃が活性化される岐阜。そしてカウンターが発動し、#10川西翔太と#9山内が抜け出し、ラストパスを貰って相手GKと1対1になった#9山内のシュートは…GKが止める。その瞬間、『よし先制！』と椅子から腰を浮かせた僕は、そのまま仰け反りながら膝から崩れ落ちました（苦笑）。こういう決定機を逃してしまうと、試合の流れも変わってしまう訳で。再びボールを鹿児島に支配され、守勢に回る岐阜。このまま我慢し続けるのか、それとも…と思い始めた後半87分、後半途中から今季初出場した#15町田ブライトが、DFからのロングボールを胸で収め、相手DFの裏を通すボールを出すと、これを抜け出した#10川西が右足を振り抜いて、逆サイドのネット隅に突き刺す見事なゴール！鹿児島DFはオフサイドをアピールしてたけど、セルフジャッジは禁物ですよ…ええ、僕らは何度も痛い目みてます（苦笑）。そして、この貴重な先制点を守り切った岐阜が1-0で勝利！いやー、苦しい我慢の展開だったけれど、勝てて良かった。ただ個人的には、ボクシングに例えると“第1Rのゴングと同時にクリンチ合戦に持ち込んで、最終Rでヌルいカウンター一発を決めて勝った泥仕合”としか表現できないです（苦笑）。公式スタッツでは、シュートは岐阜が7本、鹿児島が13本。内容としては誉められないものだったけれど、J3優勝・J2昇格のためには、こうした試合でも勝ちが拾えることも重要。運命の（そしてサッカーの）神様、今後どうぞひとつよろしくお願ひいたします（笑）。（ささたく）

●この試合の感想を一言で述べるとしたら「令衣ちゃん、怖かったよ、令衣ちゃん」でしょうか。前後半通じて、彼のシュートがことごとく外れてくれて助かったな、と。あ、前半の酒本、後半の藺田のシュートもね。両サイドと真ん中との連携が厄介だった印象です。

ウチの方は山内かな？やっぱり。悪くないパフォーマンスだったのでは？天皇杯予選決勝とは雲泥の差に見えましたね。アレだけ、ボールを収めてくれる、あるいは競ってくれるとありがたい。トーマには出来ないプレー。あとは、アノ一対一さえ決めてくれてたらMOMだった、かな（苦笑）アレなあ、アレは決めてくれんな…。勝ったからいいようなものの、これでドロー、ましてや敗戦してたら今季が終わってたやもしれん、と言ったら言い過ぎか？それでも、今後に期待を抱ける70分。トーマも彼がいれば生きるんじゃないの？

吉濱もほぼフルタイムがんばってくれたし、交替で今季初出場を果たしたブライトも持ち味を活かしたナイス・アシスト。選択肢が増えてきたのは嬉しい限り。アンストラクチャー狙いのウチのやり方に、山内とブラが計算出来そうになってきた。この夏休みの間に精度と連携をアゲておいてもらいたいところ。お願いしますよ？あ、あと、歩夢のバットマン、カッコよかった！ツネさま、か？と思ったよ（笑）

さて、いよいよ次節は前半最終戦。なんか、エライことチョーシにノってきた長野が相手ってのがメンドイけど、どんな手を使ってでもいいんで勝ち点3ね。暫定だっとかまわないんで首位をキープしておこう。勝利と無事の帰還を祈ってます！（ぐん）

【第14節】長野 2-1 岐阜

●恥ずかしながら（苦笑）、首位に立っているFC岐阜。もちろんライバルとの勝ち点差はわずかだけれど、このまま勝ち続ければJ3優勝が達成できる位置というのは、今まで経験がないものの、なかなか気分の良いものです。その気分を、長い中断期間中にじっくりと味わいたかったんですけどね…（溜息）。

まだ「前半はよかった」。長野にボールを支配され（持たせ？）ながら、堅い守備で決定的な場面はほとんど作らせない。そして前半23分には、CKのボールを受けた#8中島賢星が、PA手前から見事なミドルを放って先制点！3月度のJ3ベストゴールを彷彿させるようなゴラツソでした。しかし、#2橋本和が負傷してしまい、前半40分に交替。結果論だけど、ここで交替回数を1回使わずにあと5分、なんとかできなかったのかと思う。

後半と同時に、長野は#15宮阪政樹を投入。そして、両方とも「後半は別のチーム」になる展開。攻め続ける長野に対して、粘り強い守備でゴールを塞ぐ岐阜だったが、せっかく奪ったボールを、ビルドアップするでも最前線に狙い定めて送り込むでもなく、味方のいないところに中途半端に蹴り出したり、あるいはミスをして、再び長野の攻撃ターン…という時間帯がずっと続く。守備に集中しすぎて、攻撃への切り替えができない状況（？）なのか僕には理由は不明だが、とにかく勿体なさ過ぎるプレーが悪い癖として、このところチームに出てきてしまっている。そりゃあ、そんなことしてたら失点しますわ…（溜息）。しかも、今季序盤は低迷して“眠れる獅子”だったけど、天皇杯で川崎と対戦（1-1、PK負け）してからは、攻撃陣が目覚ましてしまった長野。こっちが守備練習、あっちが攻撃練習してるのかな？って思うぐらいに（苦笑）タコ殴りにされて、2度ゴールをこじ開けられて、ぐうの音も出ないレベルでの負け。そして試合がない（=勝ち点の稼げない）第15節には首位陥落、3位に。僕は、こんな暗雲立ちこめる気分で中断期間を過ごしたくはなかったです（苦笑）。しかしまあ、チームの抱える問題点は明らかになっている訳だし、今季は（開幕前のキャンプ以上に長い）中断期間中に、しっかりと修正が可能（かもしれない）という意味では、マシなのかもしれないですね。いつの間にか2位になってますが（苦笑）、2位奪還に目の色を変えてくるであろう福島さんを後半戦の初戦でしっかりと叩いて、成長したチームを僕らに見せてください。頼みますよ！（ささたく）

●う～ん、とにかく、衝撃のデカイ試合だった。そら、鳥取も8点取られるワ。ウチは、よく2点で済んだよな。5点くらい取られてもおかしくなかった。守備陣は精一杯カラダを張ってたよ。ただ、クリアを繰り返すだけでは、いずれ決められてしまうよね。

しかし、いろいろとツライ。このまま、夏休みに入るのもツライ。ウチのHPを開く度にこの結果を2ヶ月も見続けなきゃならないのがツライ。吉濱のシュートが決まったら、違った展開もあったかな？けど、そうだったら、スコアは2-3になってたかもね。

ただ、ねえ。なんで、アノ時間に吉濱替えた？陽介、ブライトを入れて、ボールをキープすることで流れを変えようという目論見だったのかな？でも、長野の勢いに抗えなかったね。確かに、ワタルの負傷交替は痛かった。痛かったが、歩夢はワタルじゃなければ船津でもない。ベテラン二人に何かあっても補填が効かないっていうのはマズいんじゃないかい？しかし、長野は宮阪を入れて明確にスイッチが入った。それに対して、ウチは何の変化も効果も出せなかった。ソレがツライ。

とにかく、夏休み中にいろいろ手を打ってもらいたい。それにしても、前半で5敗もしてるクラブに、まだ、昇格はおろか、優勝の目もあるなんてな。ツイてる…のかな？だったら、ソレを活かさないとね。で、長良川では長野に熨斗をつけて、この借りを返そう！（ぐん）